

完全復興へ！

「オール益城」でにぎわいづくり

益城町長 西村博則

新

年を迎えるにあたり、町民の皆さまに謹んでごあいさつを申し上げます。

昨年を振り返りますと、一昨年に引き続き新型コロナウイルスの甚大な影響を受けた1年でありました。町といたしましては、迅速なワクチン接種をはじめとした感染症対策や、各種事業者、ひとり親世帯、大学生など新型コロナウイルスの影響により、経済的に困難な状況に陥っている方々などへの支援を重点的に進めてまいりました。しかし、昨年末には変異した新型コロナウイルス「オミクロン株」が確認されており、そのような状況を踏まえ、町民の皆さまの安心・安全のため、今後も新型コロナウイルス追加(3回目)接種を、迅速に実施してまいります。

熊本地震から6年目を迎え、地震からの復旧はほぼ完了し、復興に向けて全力で取り組んでいく時期に入っています。「県道熊本高森線4車線化工事」や、「益城中央被災市街地復興土地区画整理事業」は着実に進展しており、役場新庁舎建設地の南側に整備している「復興まちづくりセンター」は、本年4月にオープンの運びとなります。また、益城熊本空港インターチェンジ周辺の益城台地西地区の土地区画整理事業が本稼働し、町の西側の新都市拠点として約400区画の住宅地が整備されます。しかし、復旧事業などの影響で住まいを再建できず、未だ仮設住宅などでの生活を余儀なくされている方々もおられます。引き続き最後のお一人までしっかりと寄り添ってまいります。

町の完全復興を成し遂げるためには、ハード面の整備と合わせて、にぎわいづくりに取り組んでいくことが重要です。そのにぎわいづくりの拠

点の一つとして、昨年12月、木山の横町線沿いに「みんなの家」を活用した「コワーキングスペース」と「シェアオフィス」を開設しました。皆さんぜひご活用ください。また、「惣領にぎわい拠点施設(仮称)」の整備も進んでいます。今春オープン予定で、町内はもとより町外からも多くの人が訪れる、まさににぎわいあふれる拠点の一つになるものと期待しています。

このような新しいまちづくりでは、まちづくり会社(株)未来創成ましきや各地区のまちづくり協議会、さらには、若者の集まりである未来トーク、熊本大学ましきラボなど多種多様な団体に協力をいただきながら取り組んでいます。今後はその新しいまちづくりに、町民の皆さまの力を結集させ、町の完全復興に向け歩みを進めてまいります。いと考えております。どうぞ「オール益城」の精神で、ワクワクするようなにぎわいある新しいまちづくりにご参画ください。

結びになりますが、本年が町民の皆さまにとりまして、希望に満ちた一年となりますようお祈り申し上げますとともに、新型コロナウイルスの早期終息を願いまして、年頭のごあいさつといたします。

